

© EPODOC / EPO

PN - JP2003218721 A 20030731
 TI - BROADCASTING RECEIVING DEVICE
 FI - H03J5/02&G ; H04H1/00&C ; H04B1/16&G
 PA - CLARION CO LTD
 IN - TAKEMOTO HIDENORI
 AP - JP20020014991 20020124
 PR - JP20020014991 20020124
 DT - I

© WPI / DERWENT

AN - 2003-667584 [63]
 TI - Broadcast reception apparatus e.g. RDS receiver, has microcomputer that stores received broadcast data along with information corresponding to selected genre in memory, based on auto store command
 AB - JP2003218721 NOVELTY - A memory (19C) stores the received frequency data of each broadcast. A genre selection key (18A) selects a desired broadcast genre which is identified from broadcast genre information extracted from received broadcast signal. A microcomputer (20) stores the received broadcast data along with information corresponding to selected genre in the memory, on detection of auto store command.
 - USE - Broadcast reception apparatus e.g. digital audio broadcast (DAB) receiver and radio data system (RDS) broadcast receiver.
 - ADVANTAGE - The listening of the broadcast for each broadcast genre in preset memory is performed by one-touch control, as only the received broadcast data along with information corresponding to selected genre is stored in specific memory area. Thus the versatility is improved.
 - DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the block diagram of the RDS broadcast receiver. (Drawing includes non- English language text).
 - antenna 11
 - tuner 12
 - genre selection key 18A
 - memory 19C
 - microcomputer 20
 - (Dwg.1/2)
 IW - BROADCAST RECEPTION APPARATUS RDS RECEIVE MICROCOMPUTER STORAGE RECEIVE BROADCAST DATA INFORMATION CORRESPOND SELECT MEMORY BASED AUTO STORAGE COMMAND
 PN - JP2003218721 A 20030731 DW200363 H04B1/16 007pp
 IC - H03J5/02 ; H04B1/16 ; H04H1/00
 MC - T01-J08A U25-H03A W03-B01B1 W03-B06 W03-B08
 DC - T01 U25 W03
 PA - (CLAQ) CLARION CO LTD
 AP - JP20020014991 20020124
 PR - JP20020014991 20020124

© PAJ / JPO

PN - JP2003218721 A 20030731
 TI - BROADCASTING RECEIVING DEVICE
 AB - PROBLEM TO BE SOLVED: To solve the problem that broadcasting reception frequency data cannot be auto-stored for each broadcasting genre.

BEST AVAILABLE COPY

- SOLUTION: The broadcasting receiving device comprises a receiving antenna 11 and a tuner 12 for receiving broadcasting at a predetermined frequency, a PTY (broadcasting genre identification information) selection key 18A for selecting a desired PTY from among a plurality of PTYs identifying a broadcasting genre of a broadcasting program, a RDS decoder 16 for extracting a PTY from multiplex broadcasting from among broadcastings, a memory control unit 20B for sequentially changing a tuned frequency to sequentially receive broadcasting when a special auto-store instruction selecting a PTY by the PTY selection key is detected, and for storing only the reception frequency data of the multiplex broadcasting related to the PTY selected by the PTY selection key into a second memory area 19B, and a control unit 20A for receiving the multiplex broadcasting corresponding to reception frequency data when the reception frequency data stored in a preset memory 19C is selected.

I - H04B1/16 ; H03J5/02 ; H04H1/00

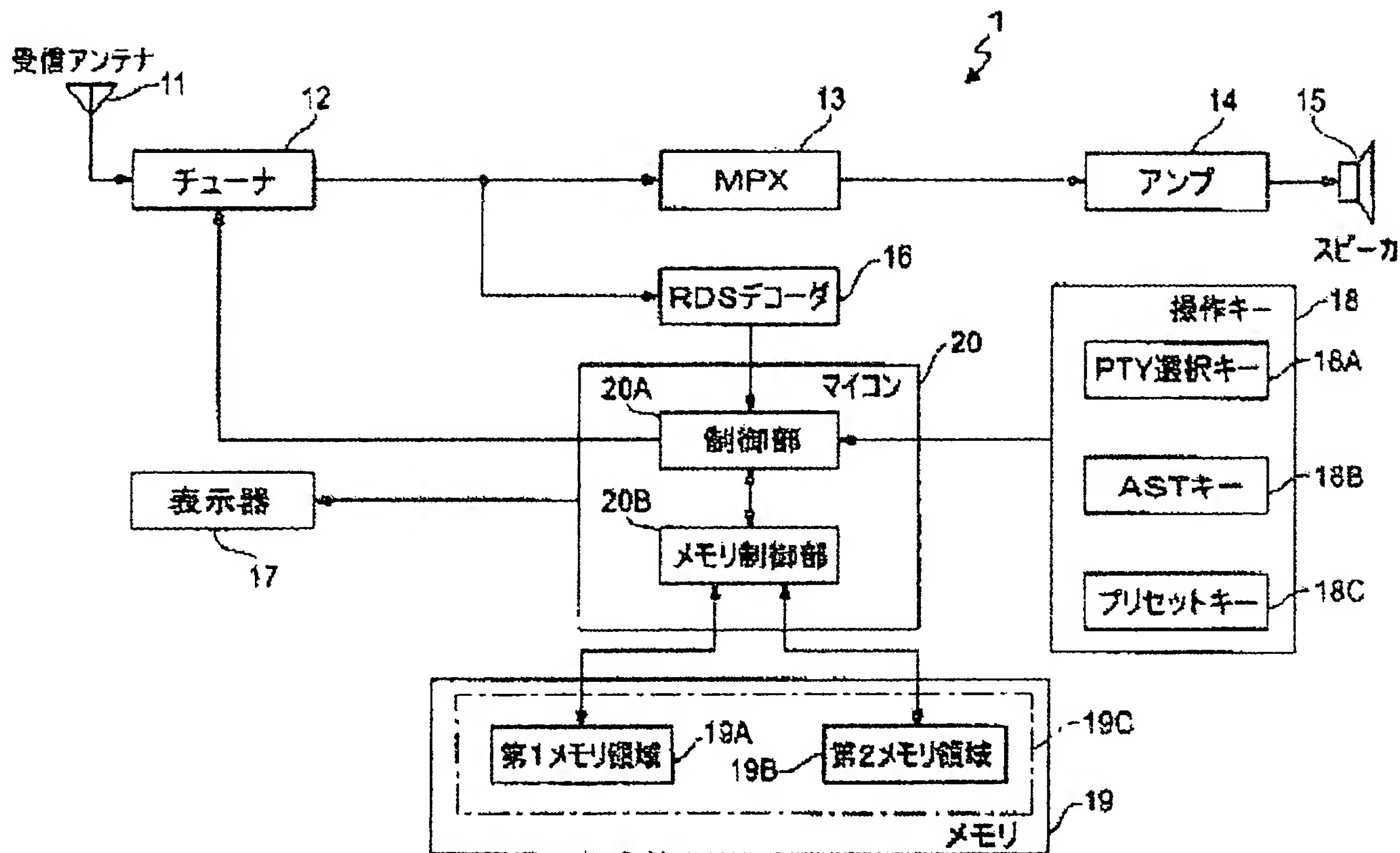
PA - CLARION CO LTD

IN - TAKEMOTO HIDENORI

ABD - 20031105

ABV - 200311

AP - JP20020014991 20020124



- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 RDS放送受信機(放送受信装置) | 19A 第1メモリ領域 |
| 11 受信アンテナ(受信手段) | 19B 第2メモリ領域 |
| 12 チューナ(受信手段) | 19C プリセットメモリ |
| 16 RDSデコーダ(ジャンル抽出手段) | 20 マイコン(メモリ制御手段、制御手段) |
| 18A PTY選択キー(ジャンル選択手段) | 20A 制御部(制御手段) |
| | 20B メモリ制御部(メモリ制御手段) |

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-218721

(P2003-218721A)

(43) 公開日 平成15年7月31日 (2003.7.31)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	特許出願 (参考)		
H 0 4 B	1/16	H 0 4 B	1/16	G	5 J 1 0 3
H 0 3 J	5/02	H 0 3 J	5/02	G	5 K 0 6 1
H 0 4 H	1/00	H 0 4 H	1/00	C	

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2002-14991(P2002-14991)

(22) 出願日 平成14年1月24日 (2002.1.24)

(71) 出願人 000001487

クラリオン株式会社

東京都文京区白山5丁目35番2号

(72) 発明者 武本 英紀

東京都文京区白山5丁目35番2号 クラリ

オン株式会社内

(74) 代理人 100083954

弁理士 青木 輝夫

Fターム(参考) 5J103 AA13 BA04 CB04 FA03 JA09

JA11 JA23 MA01

5K061 AA09 BB04 BB17 FF01 FF12

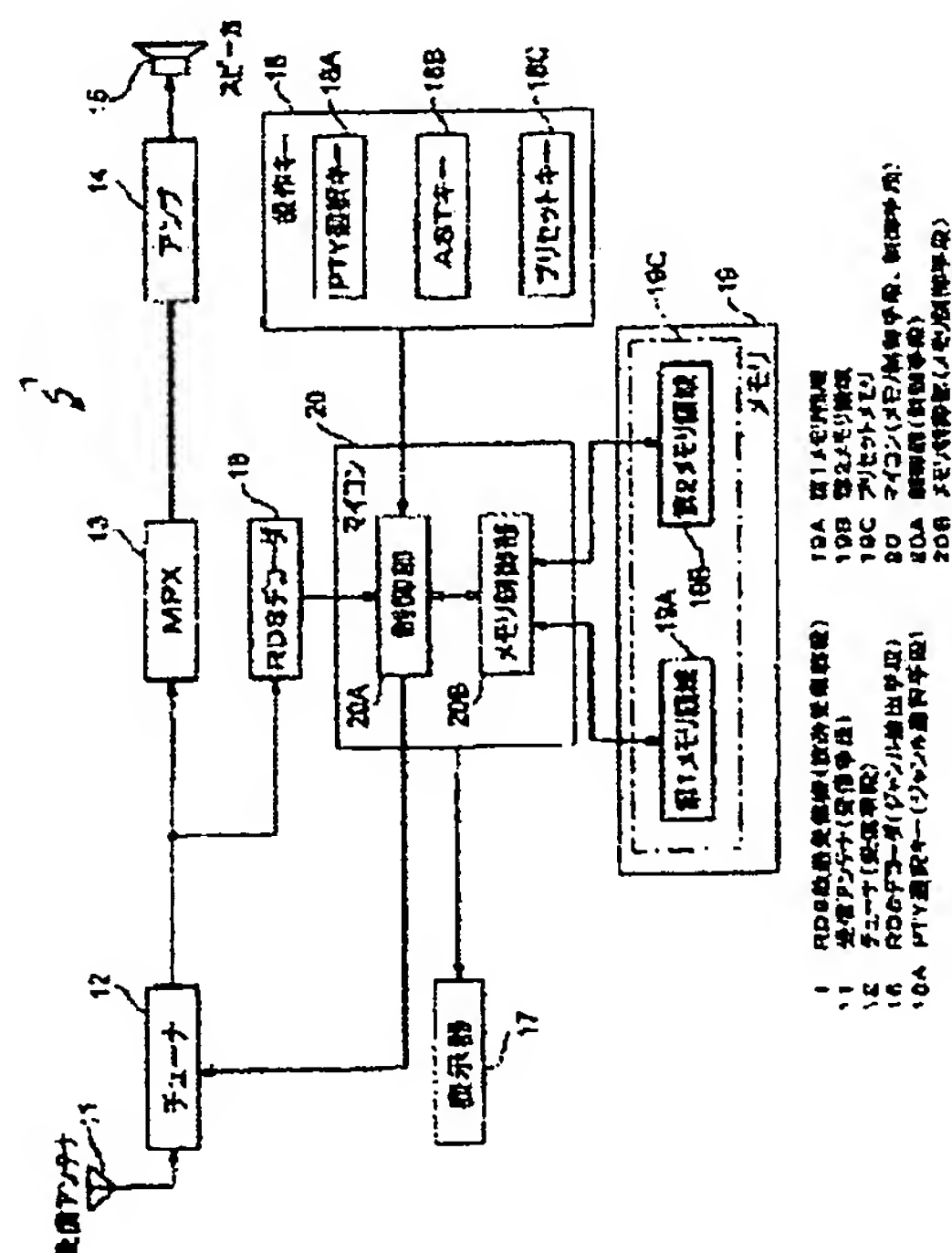
JJ06 JJ07

(54) 【発明の名称】 放送受信装置

(57) 【要約】

【課題】 放送ジャンル毎に放送の受信周波数データをオートストアすることができない。

【解決手段】 所定周波数の放送を受信する受信アンテナ11及びチューナ12と、放送番組の放送ジャンルを識別する複数のPTYから所望のPTYを選択するPTY選択キー15Aと、放送の内、多重放送からPTYを抽出するRDSデコーダ16と、PTY選択キーにてPTYを選択した特殊オートストア指令を検出すると、同調周波数を順次変更しながら放送を順次受信し、PTY選択キーで選択したPTYに関わる多重放送の受信周波数データのみを第2メモリ領域19Bに記憶するメモリ制御部20Bと、プリセットメモリ19Cに記憶した受信周波数データを選択すると、この受信周波数データに対応する多重放送を受信する制御部20Aとを有している。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定周波数の放送を受信する受信手段と、
前記放送から放送ジャンルを識別するための放送ジャンル情報を抽出するジャンル抽出手段と、
各放送の受信周波数データを記憶するプリセットメモリと、
所望の放送ジャンルを選択するジャンル選択手段と、
オートストア指令を検出すると、前記放送を順次受信し、前記ジャンル選択手段にて選択された放送ジャンルに対応する放送ジャンル情報を有する放送の受信周波数データを前記プリセットメモリに記憶させるメモリ制御手段とを有することを特徴とする放送受信装置。

【請求項2】 所定周波数の放送を受信する受信手段と、通常オートストア指令を検出すると、前記放送を順次受信し、各放送の受信周波数データをプリセットメモリに記憶するメモリ制御手段とを有する放送受信装置であって、
前記放送に関わる複数の放送ジャンルから所望の放送ジャンルを選択するジャンル選択手段と、
前記受信手段にて受信した放送の内、多重放送から放送ジャンルを識別するための放送ジャンル情報を抽出するジャンル抽出手段とを有し、
前記メモリ制御手段は、
特殊オートストア指令を検出すると、前記放送を順次受信し、前記ジャンル抽出手段にて各多重放送の放送ジャンル情報を抽出することで、前記ジャンル選択手段にて選択した放送ジャンルに関わる多重放送の受信周波数データのみを前記プリセットメモリに記憶することを特徴とする放送受信装置。

【請求項3】 前記制御手段は、
前記メモリ制御手段にて受信周波数データをプリセットメモリに記憶するオートストア動作を完了すると、このオートストア動作で前記プリセットメモリに記憶した受信周波数データに対応する多重放送を前記受信手段にて受信させることを特徴とする請求項2記載の放送受信装置。

【請求項4】 前記プリセットメモリは、
前記通常オートストア指令に応じて受信周波数データを記憶する第1メモリ領域と、
前記特殊オートストア指令に応じて受信周波数データを記憶する第2メモリ領域とを有することを特徴とする請求項2又は3記載の放送受信装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、同調周波数を順次変更しながら、番組放送に、例えば、その番組放送の放送ジャンル情報等のデータとを多重化した多重放送を順次受信し、各多重放送の受信周波数をプリセットメモリに記憶するオートストア機能を備えた、例えばRDS放

送受信機やDAB放送受信機等の放送受信装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、このような放送受信装置としては、例えばRDS放送を受信するRDS放送受信機やDAB放送を受信するDAB放送受信機等があげられる。

【0003】例えばRDS放送においては、番組放送に、例えば、その番組放送の放送ジャンルを識別する放送ジャンル情報等のデータを多重化し、この多重放送を配信している。

【0004】このような放送ジャンル情報としては、例えば音楽番組、ニュース番組やスポーツ番組等があげられる。

【0005】従って、例えばRDS放送受信機においては、所望の放送ジャンルの番組放送を受聴する場合、所望の放送ジャンルを選択することで、この放送ジャンルに対応した放送ジャンル情報に関わる番組放送を1局のみサーチするサーチ機能を有し、このサーチ機能を使用することで所望放送ジャンルの番組放送を受聴することができる。

【0006】また、このようなRDS放送受信機においては、通常オートストア機能を有し、この通常オートストア機能を起動させる通常オートストア指令に応じて、RDS放送の所定放送周波数帯域の下限周波数及び上限周波数間で多重放送や番組放送を順次受信し、各放送の受信周波数データをプリセットメモリに記憶するようにしたので、ユーザは、各プリセットメモリに対応したプリセットキーをワンタッチ操作することでプリセットメモリに記憶中の受信周波数データに対応する番組放送を受聴することができる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の放送受信装置によれば、オートストア機能を起動させることで、放送周波数帯域内の同調周波数を順次変更しながら放送を順次受信し、各放送の受信周波数データをプリセットメモリに順次記憶するようにしたが、例えばユーザが音楽番組を所望したとしても、所望しない放送ジャンルの放送の受信周波数データまで記憶されてしまうことから、ユーザ所望の放送ジャンル毎にオートストアを実現することができない。

【0008】本発明は上記点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、放送ジャンル毎に放送をオートストアすることができる放送受信装置を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明の放送受信装置は、所定周波数の放送を受信する受信手段と、前記放送から放送ジャンルを識別するための放送ジャンル情報を抽出するジャンル抽出手段と、各放送の受信周波数データを記憶するプリセットメモリ

と、所望の放送ジャンルを選択するジャンル選択手段と、オートストア指令を検出すると、前記放送を順次受信し、前記ジャンル選択手段にて選択された放送ジャンルに対応する放送ジャンル情報を有する放送の受信周波数データを前記プリセットメモリに記憶させるメモリ制御手段とを有するようにした。

【0010】従って、本発明の放送受信装置によれば、オートストア指令を検出すると、前記放送を順次受信し、前記ジャンル選択手段にて選択された放送ジャンルに対応する放送ジャンル情報を有する放送の受信周波数データのみを前記プリセットメモリに記憶するようにしたので、放送ジャンル毎に放送の受信周波数データを記憶することができ、ひいてはワンタッチ操作でプリセットメモリに記憶中の放送ジャンル毎の放送を受聴することができ、その使い勝手を著しく良好にすることができる。

【0011】また、本発明の放送受信装置は、所定周波数の放送を受信する受信手段と、通常オートストア指令を検出すると、前記放送を順次受信し、各放送の受信周波数データをプリセットメモリに記憶するメモリ制御手段とを有する放送受信装置であって、前記放送に関わる複数の放送ジャンルから所望の放送ジャンルを選択するジャンル選択手段と、前記受信手段にて受信した放送の内、多重放送から放送ジャンルを識別するための放送ジャンル情報を抽出するジャンル抽出手段とを有し、前記メモリ制御手段は、特殊オートストア指令を検出すると、前記放送を順次受信し、前記ジャンル抽出手段にて各多重放送の放送ジャンル情報を抽出することで、前記ジャンル選択手段にて選択した放送ジャンルに関わる多重放送の受信周波数データのみを前記プリセットメモリに記憶するようにした。

【0012】従って、本発明の放送受信装置によれば、前記特殊オートストア指令を検出すると、前記放送を順次受信し、前記ジャンル抽出手段にて各多重放送の放送ジャンル情報を抽出することで、前記ジャンル選択手段にて選択した放送ジャンルに関わる多重放送の受信周波数データのみを前記プリセットメモリに記憶するようにしたので、放送ジャンル毎に放送の受信周波数データを記憶することができ、ひいてはワンタッチ操作でプリセットメモリに記憶中の放送ジャンル毎の放送を受聴することができ、その使い勝手を著しく良好にすることができる。

【0013】本発明の放送受信装置は、前記制御手段が、前記メモリ制御手段にて受信周波数データをプリセットメモリに記憶するオートストア動作を完了すると、このオートストア動作で前記プリセットメモリに記憶した受信周波数データに対応する多重放送を前記受信手段にて受信させるようにした。

【0014】従って、本発明の放送受信装置によれば、受信周波数データをプリセットメモリに記憶するオート

ストア動作を完了すると、このオートストア動作で前記プリセットメモリに記憶した受信周波数データに対応する多重放送を受信手段に受信させるようにしたので、ユーザは、煩わしい操作を行わなくても、オートストア動作でプリセットメモリに記憶した多重放送の内容を確認することができる。

【0015】本発明の放送受信装置は、前記プリセットメモリが、前記通常オートストア指令に応じて受信周波数データを記憶する第1メモリ領域と、前記特殊オートストア指令に応じて受信周波数データを記憶する第2メモリ領域とを有するようにした。

【0016】従って、本発明の放送受信装置によれば、通常オートストア時と、特殊オートストア時とで受信周波数データを記憶するプリセットメモリのメモリ領域を別領域とするようにしたので、通常オートストアで記憶したメモリ内容を保持したまま、特殊オートストアで放送ジャンル毎の受信周波数データをオートストアすることができ、さらには通常オートストア及び特殊オートストアの何れかで記憶した受信周波数データを簡単に選択することができる。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づいて本発明の放送受信装置における実施の形態を示すRDS放送受信機について説明する。図1は本実施の形態を示すRDS放送受信機内部の概略構成を示すブロック図である。

【0018】図1に示すRDS放送受信機1は、所定周波数の番組放送を、到来する放送電波として受信する受信アンテナ11と、所望受信周波数の放送に同調させるチューナ12と、複数の放送の内、多重放送に含まれる番組放送をステレオ復調するマルチプレクサ（以下、単にMPXと称する）13と、このステレオ復調された番組放送を増幅するアンプ14と、この増幅された番組放送を音声出力するスピーカ15と、例えば番組放送及び、この番組放送の放送ジャンルを識別する放送ジャンル識別情報（以下、単にPTYと称する）等の、多重放送に含まれるRDSデータを解読するRDSデコーダ16と、様々な情報を表示する表示器17と、様々な指令を入力する操作キー18と、様々な情報を記憶するメモリ19と、このRDS放送受信機1全体を制御するマイコン20とを有している。

【0019】操作キー18は、例えばRDSデータの一部である複数のPTYから所望のPTYを選択するPTY選択キー18Aと、オートストア機能を起動させるオートストアキー（以下、単にASTキーと称する）18Bと、後述するプリセットメモリ19Cに記憶中の受信周波数データに対応した放送をワンタッチ操作で選択受信するプリセットキー18C等とを有している。

【0020】メモリ19は、オートストア機能で順次受信した放送の受信周波数データを記憶するプリセットメモリ19Cを有し、このプリセットメモリ19Cは、通

常オートストア指令で順次受信した放送の受信周波数データを記憶する第1メモリ領域19Aと、特殊オートストア指令で順次受信した放送の中から、選択PTYに関わる多重放送の受信周波数データのみを記憶する第2メモリ領域19Bとを有している。

【0021】マイコン20は、オートストア機能によってRDS放送帯域内で順次受信した放送の受信周波数データをプリセットメモリ19Cに記憶するメモリ制御部20Bと、プリセットキー18Cの入力に応じて、このプリセットキー18Cに対応したプリセットメモリ19Cに記憶中の受信周波数データに対応する放送を選択受信させる制御部20Aとを有している。

【0022】メモリ制御部20Bは、通常オートストア指令を検出すると、受信アンテナ11及びチューナ12を通じてRDS放送帯域内での同調周波数を順次変更しながら放送を順次受信し、各放送の受信周波数データをプリセットメモリ19Cの第1メモリ領域19Aに順次記憶すると共に、PTY選択キー18Aにて選択されたPTYに関わる特殊オートストア指令を検出すると、受信アンテナ11及びチューナ12を通じて、RDS放送帯域内での同調周波数を順次変更しながら放送を順次受信し、順次受信した放送の内、各多重放送からRDSデコーダ16にてPTYを抽出することで、PTY選択キー18Aにて選択したPTYに関わる多重放送の受信周波数データのみをプリセットメモリ19Cの第2メモリ領域19Bに順次記憶するものである。

【0023】通常オートストア指令は、ASTキー18Bの入力操作に応じて起動するコマンドであり、特殊オートストア指令は、PTY選択キー18Aにて所望PTYを選択中にASTキー18Bが入力されると、起動するコマンドである。

【0024】尚、請求項記載の放送受信装置はRDS放送受信機1、受信手段は受信アンテナ11及びチューナ12、ジャンル抽出手段はRDSデコーダ16、ジャンル選択手段はPTY選択キー18Aに相当するものである。

【0025】次に本実施の形態を示すRDS放送受信機1の動作について説明する。図2は本実施の形態を示すRDS放送受信機1の特殊オートストア処理に関わるマイコン20の処理動作を示すフローチャートである。

【0026】図2に示す特殊オートストア処理とは、RDS放送帯域の放送からPTY選択キー18Aで選択したPTYに関わる多重放送の受信周波数データをプリセットメモリ19Cに順次記憶する、放送ジャンル単位でのオートストア処理である。

【0027】図2においてマイコン20のメモリ制御部20Bは、ASTキー18Bが押下されたか否かを判定する(ステップS1)。ASTキー18Bが押下されたのであれば、PTY選択キー18AにてPTYが選択されているか否かを判定する(ステップS2)。

【0028】PTYが選択されているのであれば、ステップS1のASTキー18Bの押下動作が通常オートストア指令と判断し、通常のオートストア動作を実行し(ステップS3)、この処理動作を終了する。尚、通常のオートストア動作とは、RDS放送帯域の同調周波数の下限値から上限値までの放送を順次受信し、各放送の受信周波数データを第1メモリ領域19Aに順次記憶する動作である。

【0029】また、マイコン20の制御部20Aは、ステップS2にてPTYが選択されているのであれば、RDS放送帯域の下限値の同調周波数をチューナ12に設定することで(ステップS4)、多重放送を受信したか否かを判定する(ステップS5)。

【0030】制御部20Aは、多重放送を受信したのであれば、RDSデコーダ16を通じて受信中の多重放送に含まれるPTYを抽出したか否かを判定する(ステップS6)。さらに、制御部20Aは、PTYを抽出したのであれば、この抽出PTYが選択されているPTYと合致しているか否かを判定する(ステップS7)。

【0031】メモリ制御部20Bは、PTYが合致しているのであれば、ステップS5で受信した多重放送の受信周波数データを第2メモリ領域19Bに記憶し(ステップS8)、第2メモリ領域19Bに空き領域があるか否かを判定する(ステップS9)。

【0032】制御部20Aは、第2メモリ領域19Bに空き領域があると判定されると、その同調周波数が上限値に達したか否かを判定する(ステップS10)。その同調周波数が上限値に達したのでなければ、次の同調周波数にチューナ12を設定変更し(ステップS11)、多重放送を受信したか否かを判定すべく、ステップS5に移行する。

【0033】また、ステップS6にて受信中の多重放送からPTYを抽出したのでなければ、又はステップS7にて抽出中のPTYが選択中のPTYと合致していなければ、その同調周波数が上限値に達したか否かを判定すべく、ステップS10に移行する。

【0034】また、制御部20Aは、ステップS9にて第2メモリ領域19Bに空き領域がないと判定されると、第2メモリ領域19Bに記憶中の受信周波数データに対応する多重放送を順次受信しながら音声出力すべく、プリセットスキャン動作を開始し(ステップS12)、操作キー18のキー入力があったか否かを判定する(ステップS13)。

【0035】操作キー18のキー入力があったのであれば、このキー入力時の多重放送を継続受信し(ステップS14)、この特殊オートストア処理の処理動作を終了する。

【0036】また、制御部20Aは、操作キー18のキー入力がなかったのであれば、第2メモリ領域19Bに記憶中の全受信周波数データに関わる多重放送を順次受

信するプリセットスキャン動作が完了したか否かを判定する(ステップS15)。

【0037】制御部20Aは、プリセットスキャン動作を完了したのであれば、特殊オートストア開始前の放送を受信することで(ステップS16)、この特殊オートストア処理の処理動作を終了する。

【0038】また、ステップS10にて同調周波数が上限値に達したのであれば、第2メモリ領域19Bに記憶中の受信周波数データがあるか否かを判定する(ステップS17)。第2メモリ領域19Bに記憶中の受信周波数データがあるのであれば、第2メモリ領域19Bに記憶中の全受信周波数データに対するプリセットスキャン動作を実行すべく、ステップS12に移行する。

【0039】また、ステップS17にて第2メモリ領域19Bに記憶中の受信周波数データがなければ、この選択されているPTYに関わる多重放送がないものと判断し、この特殊オートストア処理に関わる処理動作を終了する。

【0040】つまり、図2に示す特殊オートストア処理によれば、例えばPTY選択キー18Aにて音楽番組を選択した後、ASTキー18Bが押下されると、音楽番組に関わる多重放送の受信周波数データのみを第2メモリ領域19Bに順次記憶することができる。

【0041】本実施の形態によれば、PTY選択キー18Aにて選択したPTYに関わる多重放送の受信周波数データをオートストアする特殊オートストア指令を検出すると、RDS放送帯域内の放送を順次受信し、この順次受信した放送の内、各多重放送のPTYをRDSデコーダ16にて抽出することで、PTY選択キー18Aにて選択したPTYに関わる多重放送の受信周波数データのみを第2メモリ領域19Bに記憶するようにしたので、放送ジャンル毎に多重放送の受信周波数データを記憶することができ、ひいてはワンタッチ操作で第2メモリ領域19Bに記憶中の放送ジャンル毎の多重放送を受聴することができ、その使い勝手を著しく良好にすることができる。

【0042】また、本実施の形態によれば、受信周波数データをプリセットメモリ19Cに記憶するオートストア動作を完了すると、このオートストア動作でプリセットメモリ19Cに記憶した受信周波数データに対応する放送を順次受信しながら音声出力するプリセットスキャン動作を実行するようにしたので、ユーザは、煩わしい操作を行わなくても、オートストア動作でプリセットメモリ19Cに記憶した受信周波数データの放送の内容を確認することができる。

【0043】さらに、本実施の形態によれば、通常オートストア時と、特殊オートストア時とで受信周波数データを記憶するプリセットメモリ19Cのメモリ領域を別領域とするようにしたので、通常オートストアで記憶したメモリ内容を保持したまま、特殊オートストアで放送

ジャンル毎の受信周波数データをオートストアすることができ、さらには通常オートストア及び特殊オートストアの何れかで記憶した受信周波数データを簡単に選択することができる。

【0044】尚、上記実施の形態においては、RDS放送に対応したRDS放送受信機1について説明したが、放送ジャンル識別コードを有する多重放送を受信する放送受信装置であればRDS放送受信機に限られるものではなく、例えばDAB放送に対応したDAB放送受信機においても、DAB放送の放送ジャンル識別コードを利用することで、同様の効果が得られることは言うまでもない。

【0045】また、上記実施の形態においては、プリセットメモリ19Cを第1メモリ領域19A及び第2メモリ領域19Bで構成確保する必要があるが、プリセットメモリ19Cのメモリ領域が少ない場合には、特殊オートストア処理にて所望放送ジャンルに関わる多重放送の受信周波数データを第2メモリ領域19Bではなく、通常オートストア処理で記憶する第1メモリ領域19Aに記憶するようにしても良い。

【0046】また、上記実施の形態においては、特殊オートストア処理にて所望放送ジャンルに関わる多重放送の受信周波数データを第2メモリ領域19Bに記憶した後、図2に示すステップS12にて第2メモリ領域19Bに記憶中の全受信周波数データの多重放送に順次受信動作を実行するプリセットスキャン動作を実行するようにしたが、プリセットスキャン動作を実行しなくても良い。

【0047】また、上記実施の形態においては、図2に示すステップS16にて特殊オートストア開始前の放送を受信するようにしたが、第2メモリ領域19Bに記憶中の1番目の受信周波数データに関わる多重放送を受信するようにしても良い。

【0048】また、上記実施の形態においては、PTY選択キー18Aにて選択された一つのPTYに関わる多重放送の受信周波数データを第2メモリ領域19Bに記憶するようにしたが、PTY選択キー18Aで複数のPTY、例えばニュース番組及びスポーツ番組が選択され、さらにASTキー18Bが押下されると、ニュース番組及びスポーツ番組に関わる多重放送の受信周波数データを第2メモリ領域19Bに順次記憶することもできる。

【0049】また、上記実施の形態においては、通常オートストア処理及び特殊オートストア処理を実行可能としたが、例えば特殊オートストア処理のみを実行可能とした放送受信装置であっても、同様の効果が得られることは言うまでもない。

【0050】

【発明の効果】上記のように構成された本発明の放送受信装置によれば、オートストア指令を検出すると、放送

を順次受信し、ジャンル選択手段にて選択された放送ジャンルに対応する放送ジャンル情報を有する放送の受信周波数データのみをプリセットメモリに記憶するようにしたので、放送ジャンル毎に放送の受信周波数データを順次記憶することができ、ひいてはワンタッチ操作でプリセットメモリに記憶中の放送ジャンル毎の放送を受聴することができ、その使い勝手を著しく良好にすることができる。

【図面の簡単な説明】

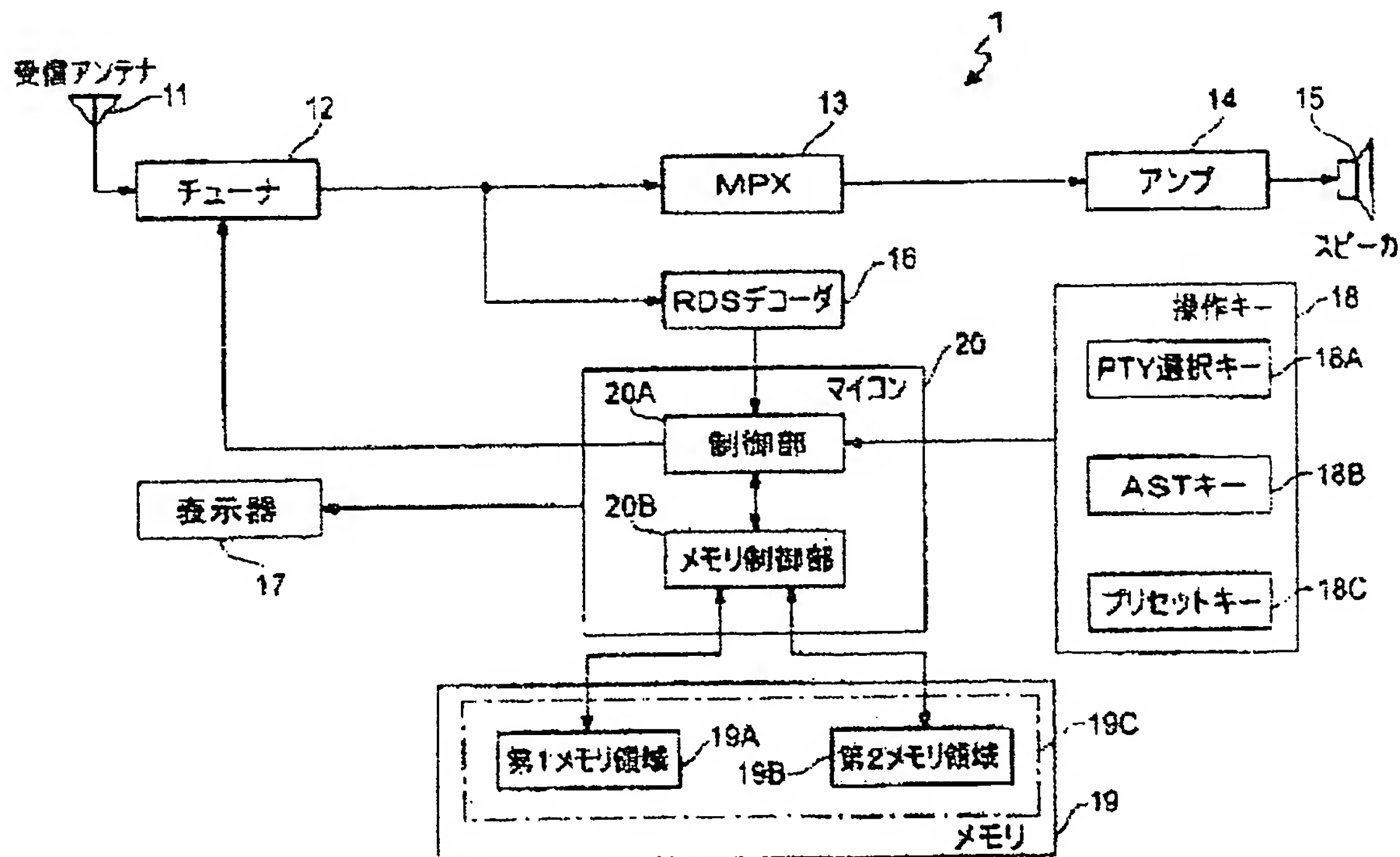
【図1】本発明の放送受信装置における実施の形態を示すRDS放送受信機内部の概略構成を示すブロック図である。

【図2】本実施の形態を示すRDS放送受信機の特許ポートストア処理に関わるマイコンの処理動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

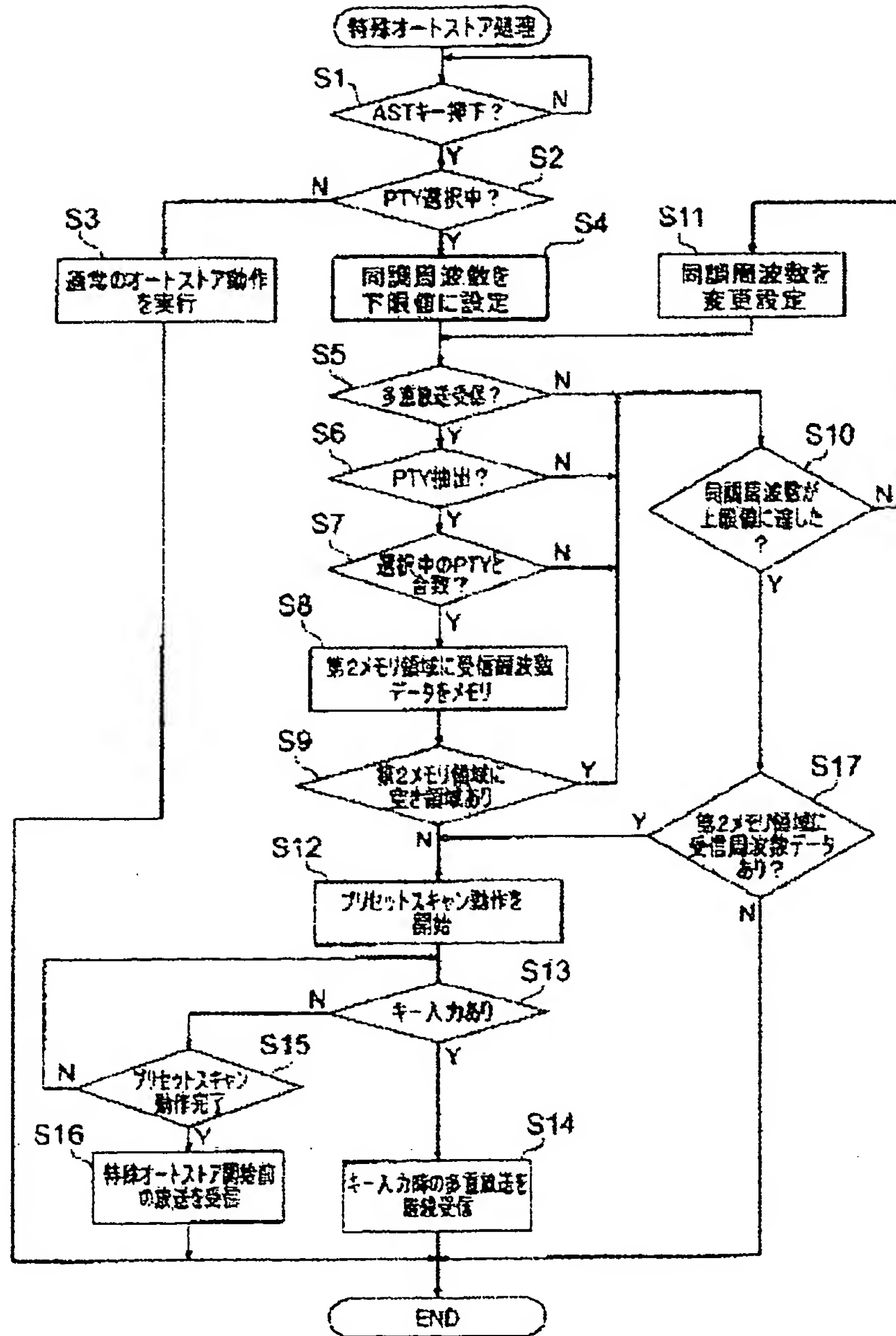
- 1 RDS放送受信機（放送受信装置）
- 11 受信アンテナ（受信手段）
- 12 チューナ（受信手段）
- 16 RDSデコーダ（ジャンル抽出手段）
- 18A PTY選択キー（ジャンル選択手段）
- 19A 第1メモリ領域
- 19B 第2メモリ領域
- 19C プリセットメモリ
- 20 マイコン（メモリ制御手段、制御手段）
- 20A 制御部（制御手段）
- 20B メモリ制御部（メモリ制御手段）

【図1】



- 1 RDS放送受信機（放送受信装置）
- 11 受信アンテナ（受信手段）
- 12 チューナ（受信手段）
- 16 RDSデコーダ（ジャンル抽出手段）
- 18A PTY選択キー（ジャンル選択手段）
- 19A 第1メモリ領域
- 19B 第2メモリ領域
- 19C プリセットメモリ
- 20 マイコン（メモリ制御手段、制御手段）
- 20A 制御部（制御手段）
- 20B メモリ制御部（メモリ制御手段）

【図2】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☒ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☒ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☒ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.